



Interview

仕事人インタビュー

様々な方の働きから
成り立つことを
忘れずに
期待に応えたい

俳優 南沢奈央さん



——デビュー当時といまとは、仕事への意識は変わりましたか。

この道で生きていくんだと自覚したのは大学卒業時ですね。最近です。それまでは学生という肩書きがあり、新しいことを始めようと思えば、ほかの選択肢もあると思っていました。同級生が就職活動で苦労して政治や社会のことも勉強する姿を見て、仕事としてやるからには、自分のやりた

いようにやるだけではだめなんだと、気づかされましたね。

——俳優のほか、NHK「サイエンスZERO」でナビゲーターを務めるなど、幅広く活躍されています。お芝居は、準備された台本、せりふを変えずに、感情を乗せて演じるのが基本です。一方でナビゲーターは、自分の言葉でいかに表現できるかが問われます。そのとき感じた驚きを言葉



南沢奈央(みなみさわ・なお)
1990年埼玉県生まれ。2006年にドラマ「恋する日曜日・ニュータイプ」で主演デビュー。12年からNHK「サイエンスZERO」のナビゲーターを務めるなど活躍の場を広げている。

せるようになりました。——今後、目指していることはありますか？

「サイエンスZERO」のように、女優以外のことも積極的に取り組みたいです。いま、韓国語を勉強していて、だいぶしゃべったり聞いたりできるようにになりました。韓国でお仕事をするとという目標は20代で実現したいです。お芝居もまだ演じたことがない役柄がたくさんあります。アクションなど今までチャレンジできていないもの、イメージになかった分野にも挑戦して世界を広げたいです。

「もう大人だ」という気になりましたが、社会に出るとすごい先輩がたくさんいて、自分はまだまだなんだと痛感します。それにくじけず、勉強し続けようという気持ちが大切だと思えます。仕事以外にも世界を広げて、様々な経験をしながら、人に合わせすぎずに自分なりの働き方を見つけてもらいたいです。

——なぜ『論語』を？

最近、日本の古典文学や中国の古典を読み始めました。落語が好きでよく寄席にも行くのですが、落語家さんの話術にいつも驚かされます。落語に限らず、何を言われてもすぐ反応できるというのは、古典が体に染み込んでいるからこそできることではないかと思うんです。すぐには役立たないことでも、勉強しておけばぎつと後から効いてくる

と信じています。

「サイエンスZERO」では、様々な分野の科学者の方にお会いしますが、基礎研究の大切さを語られます。つい目に見える結果を求めがちですが、そうではない基礎の部分で自分の中でも固めたいと思っています。——読書家の南沢さんから、新社会人におすすめの本はありますか？

仕事を始めると、人間関係で悩むことも多いと思います。私は、初めて会う人ともうまくやっていくために、処世術や人間関係に関する本を読むようになりました。印象深いのは、精神科医の名越康文さんや岡田尊司さんの本です。読むと気持ちが悪くなったたり、悩みがスッと消えたりします。どんな人でも悩みを抱えているんだと分かり、人に対してイライラせず、「こういう人もいるんだな」と流

失敗から学ばなければ、前には進めません

——学生や新社会人の読者に、エールを。最初からうまくやろうと思わず、いっぱい失敗して恥をかいて、たくさんのごとを学んでもらいたいです。私自身、大学卒業の時は、

読者プレゼント



南沢奈央さんのサイン色紙を2名の方にプレゼントします。①住所②氏名③年齢④「YELL」へのご意見・ご感想を明記の上、件名を「YELL2号プレゼント」として、以下の宛先までご応募ください。みなさんのご応募をお待ちしています。
メール：yell@shakai-ouen.com
応募締め切り：2017年7月末